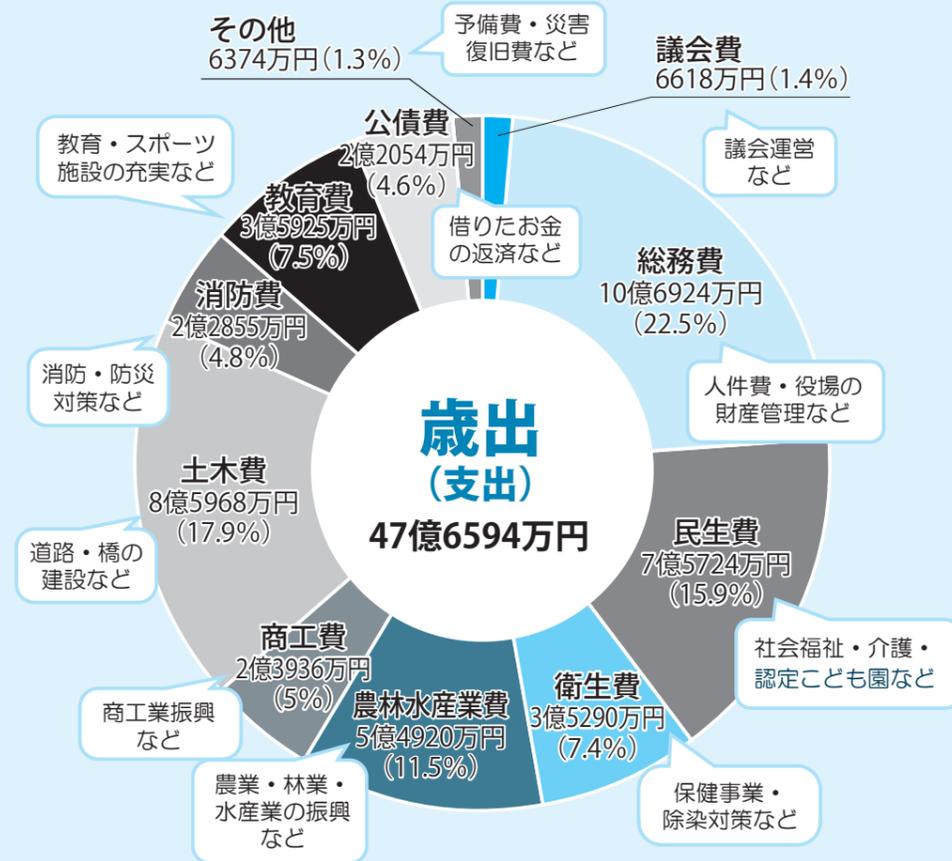


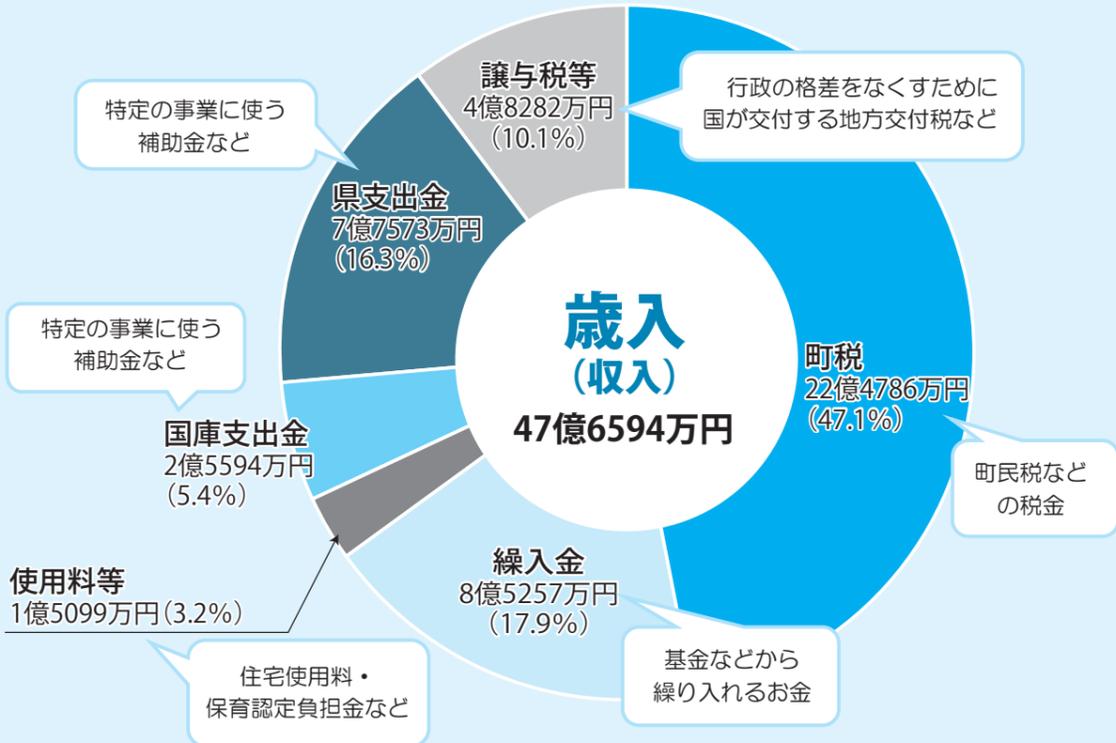
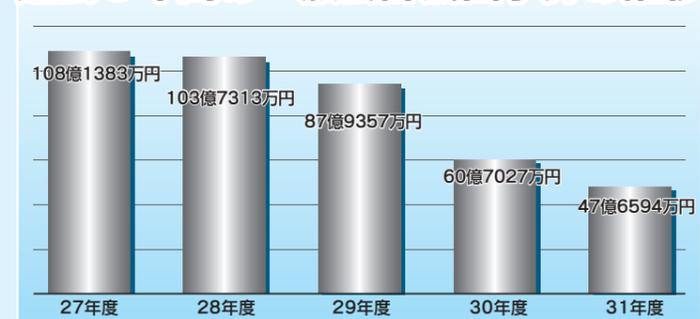
一般会計・特別会計を合わせて

約65億円の当初予算を

可決



過去5年間の一般会計歳出予算の推移



町民1人当たりの町の貯金と借金



※算定基礎数値  
基金現在高：46億8318万円  
地方債現在高：33億1409万円  
3月末の人口：4735人

平成30年度各会計当初予算額

会計名	平成31年度	前年度比
一般会計	47億6594万円	21.4% ↓
特別会計	国民健康保険	9億2902万円 0.8% ↓
	土地開発事業	4316万円 45.6% ↓
	公共下水道事業	2億3979万円 4.6% ↓
	農業集落排水事業	3143万円 2.3% ↑
	介護保険	5億2479万円 3.2% ↑
	後期高齢者医療	1596万円 9.7% ↓
合計	65億5009万円	17.0% ↓

平成31年第1回定例会を3月6日から15日までの会期で開きました。今回は、平成31年度の当初予算をはじめ、条例の改正や補正予算などの案を慎重に審議し、全て原案どおり可決しました。

このうち、予算の大部分を占める平成31年度一般会計予算は、47億6594万円と昨年度に比べ21%の減となりました。

歳入は、復興事業の進捗によって、復興関連の国県支出金が減少するなど、財政は依然厳しい状況にあり、財政調整基金、復興交付金基金などからの繰り入れにより財源の確保をしています。

一方、歳出面では、復興・創生への取り組みを最優先とし、限られた財源の重点的、優先的な配分に努めた予算編成となっています。